

(株)竹内製作所 宮入修一さん 優秀コーチ賞を受賞！

1月19日（日）に広島県で開催された「天皇盃 第30回全国都道府県対抗男子駅伝競走大会」で、長野県のコーチを務めた(株)竹内製作所に勤務の宮入修一さんが優勝チームコーチ賞を受賞しました。その報告のため、1月28日（火）、役場に来庁しました。

この大会は、中学生から社会人までの選手が一本の襷をつなぎ7区間48kmを走るもので、長野県は、2時間16分55秒という大会新記録を打ち出し、大会初の4連覇と最多を更新する11度目の優勝を飾りました。

宮入さんは、かつて自身も実業団で陸上選手として活躍されていたそうです。現在は勤務先の協力のもと、普段は、仕事の傍ら「千曲坂城クラブ（地域クラブ）」などで小中学生の陸上の指導されています。

「選手たちは、阿部守一長野県知事や長野県議会議員をはじめとする多くの応援をも糧として強い気持ちで走り切った」と静かな口調でお話されていた宮入さんの言葉からは、陸上への熱い思いが伝わってきました。



▲(左から) (株)竹内製作所人事部長 山本寛さん、山村町長、宮入さん、長野県議会議員 竹内正美さん、(株)竹内製作所取締役 小林修さん

坂城町商工会女性部様からご寄附いただきました



▲(左から) 守屋尚子副部長、山崎あき子副部長、山村町長、鈴木館長、西澤部長、神田みね子副部長、平林啓子副部長、塚田教育長

坂城町商工会女性部の皆さんより、今年も町立図書館へご寄附をいただきました。1月28日（火）に坂城町商工会女性部の皆さんが来庁し、西澤豊子部長から山村町長と塚田教育長、鈴木図書館長へ寄附金が手渡されました。

長野県で生まれた児童文学作家 椋鳩十の「子に本を読み聞かせる母が増えれば世の中は明るくなる」という言葉を引用して、西澤部長は「世界では戦争により惨劇が起きている状況が続いているが、そんな中このような寄附活動ができることの喜びを感じている。親と子どもたちが絵本に触れることにより明るい未来につなげてほしい」と思いを託していました。

いただいた寄附金は、絵本や児童書などを購入する予定です。ぜひ図書館で、購入した絵本などを手に取って楽しんでください！

「長野県立大学発信力ゼミ × 坂城町 × 村上義清公」 坂城町活性化の成果報告会が行われました

長野県立大学 グローバルマネジメント学部 二本松泰子教授のゼミ「発信力ゼミⅡ5組」の1年生9名は、「坂城町と村上義清公」をテーマに地域活性化の学習を実地踏査を行うなどして、進めてきました。そして具体的に活性化につなげるための情報発信方法として、動画やステッカーを制作しました。その報告会が1月31日（金）、町長、教育長などが出席し役場で行われました。

当日来庁した7名が発表した動画やステッカーはどれも、「坂城町」と初めて出会った瑞々しい世代の視点が存分に発揮されたものばかりで、町長はじめ教育長などはひとつひとつに感心しており、町長からは「インパクトのあるものや発想が面白い。これらを有効に活用していきたい。」と学生たちに伝えていました。一方学生からは、「砕けすぎていると怒られるのではないか、ヒヤヒヤしたが温かく受け入れてもらい嬉しい」「この学習をきっかけに坂城町が好きになった。また坂城町を訪れたい」などの感想がありました。

動画作品は町ホームページを通して見るできるので、ぜひご覧ください！



町HP



長野日大 近藤さん、佐久長聖 小林さん剣道で全国大会出場



▲(左から) 山村町長、近藤さん、小林さん
坂城町スポーツ協会 高井会長、塚田教育長

1月13日(月・祝)に長野県立武道館で行われた「令和6年度全国高等学校剣道選抜大会長野県予選会」の女子団体で長野日本大学高校が、男子団体で佐久長聖高校が優勝し、それぞれ全国大会出場の切符を手に入れました!

長野日大高校で副将を務めた近藤美紀さん(2年生)と佐久長聖高校で中堅を務めた小林快吏さん(2年生)が全国大会出場の報告のため、2月3日(月)、役場に来庁しました。

「全国大会に出場するのは初めてなので、自分の力を出し切って精いっぱい頑張りたい」と抱負を語った2人、緊張もするかもしれませんが、仲間と日々練習してきた自分を信じて、思う存分戦ってきてください!

(公財)さかきテクノセンター 30 周年記念事業 Nearly ZEB 改修報告会・記念講演「2025 新春経済講演会」

2月4日(火)、坂城テクノセンターで「(公財)さかきテクノセンター 30 周年記念事業 Nearly ZEB 改修報告会」と記念講演「2025 新春経済講演会」が行われました。

(公財)さかきテクノセンターは、開館 30 周年を迎える坂城テクノセンターを記念し、そして、2050 ゼロカーボン、カーボンニュートラルの実現に向け、センター建物のゼロエネルギー化を図り、同時に地域企業・地域全体のゼロカーボン化の推進・支援をしていくための「さかきテクノセンター ZEB 化事業」を今年度実施し、この度完成、お披露目されました。

ZEB とは、Net Zero Energy Building (ネット・ゼロ・エネルギー・ビル) の略で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことを指します。坂城テクノセンターは太陽光発電設備や蓄電池設備、ガス発電・コージェネシステムの導入、内窓や高効率空調設備の設置などにより、快適な室内環境を維持しながら、建物の年間消費一次エネルギー収支が、第三者機関の評価で基準より 82%削減されていると認証されました。

また、この ZEB 化事業の完了により、町と(公財)さかきテクノセンターとの「災害時における施設使用等の協力に関する協定」も発効し、災害時には約 100 名程度が避難できる施設としても活用できるようになりました。

続いて行われた記念講演では、信州大学特別特任教授・東京大学特別教授 堂免一成さんをお迎えして、「水から創るクリーンエネルギー：グリーン水素」と題して講演いただきました。

堂免教授は、昨年(2024 年)9月にイギリスの学術情報会社の「クラリベイト引用栄誉賞 (Clarivate Citation Laureates)」を受賞した、将来のノーベル賞候補と注目される方です。太陽光を利用して水から水素を製造する光触媒研究の第一人者で、講演



では、教授が大学院博士課程の時に発見した水分解光触媒研究についてやその後の研究の成果、現在飯田市で進めている約 5,000 m²の広さに「光触媒水分解パネル」を設置し実用化に向けて更に研究を推し進めていることについてなど、とても楽しそうにお話していました。

会場は、ほぼ満員となり、皆さん熱心に堂免教授のお話に聞き入っていました。



▲堂免教授